

**令和7年度
社会人選抜(B日程)
文化学科
[文化総合系(夜間主コース)]
小論文
問題・出題の意図・採点評価基準**

令和7年3月12日

高知県立大学

問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

（配点 100点）

著作権者から公衆送信の許諾を得ていない為著作物の引用部分のみ削除して提供します。

著作権者から公衆送信の許諾を得ていない為著作物の引用部分のみ削除して提供します。

出典：松本勝男『日本型開発協力—途上国支援はなぜ必要なのか』筑摩書房、2023年
（出題の都合上、出典の文章の一部を省略・改変した。）

注：

JICA 正式名称は、独立行政法人国際協力機構といい、日本の政府開発援助（ODA）を一元的に行う実施機関として、開発途上国への国際協力を行なっている。

ラムサール条約 1971年2月2日にイランのラムサールという都市で開催された国際会議で採択された、湿地に関する条約である。正式名称は、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」というが、採択の地にちなみ、一般に「ラムサール条約」と呼ばれている。

一村一品 1979年に平松守彦大分県知事が提唱した地域活性化運動をいう。県内全市町村がそれぞれ1つの特産品を開発し、全国に販路を拡大しようとする方策である。カボス・関アジ・関サバなどの名産品を生産し、農水産業者の収益改善に寄与した。

問1 課題文を200字以内の日本語で要約しなさい。

（配点 50点）

問2 さまざまな機関が開発協力にかかわることの利点および欠点は何か。下線部をふまえて、あなたの考えを例を挙げながら300字以内の日本語で述べなさい。

（配点 50点）

<出題の意図>

- 問1 開発協力について書かれた課題文を、正確に読みとることができるかどうかを見る。
- 問2 課題文の内容をふまえて、適切な例を提示するとともに、自らの考えを的確に表現することができるかどうかを見る。

<採点評価基準>

- 問1 次の点を見て評価する。
- （1）課題文を正確に理解することができるか（読解力）。
 - （2）著者の主張を適切にまとめることができるか（文章表現力）。
- 問2 次の点を見て評価する。
- （1）課題文の理解に基づいて、適切な例を挙げることができるか（読解力、知識・理解力）。
 - （2）自分の意見を、論理的かつ的確に表現することができるか（論理的思考力、文章表現力）。